

---

# 矛盾 Paradox

飯田 昏緑

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

矛盾 Paradox

### 【Z-コード】

Z9660

### 【作者名】

飯田 翁 緑

### 【あらすじ】

時空を超える——それは神の領域。人は決して足を踏み入れてはならない。

アンドウのタイムマシン。彼はそれで何をするのか??

「これが僕の研究の成果さ。」

アンドウはアパートの自分の部屋に恋人を招待していた。

ただでさえ狭い部屋なのに、そこにコードでつながった巨大な機械があった。機械中央にはいすが一台、これもコードにつながっている。唯一開放感のあるのは大きく開いた窓だった。

「これは何？」

恋人は進みにくそうに部屋の奥に入つていぐが。一度ほどコードでつまづいた。彼女はアンドウに向かつて言った。

「大学を中退して、こんなのを造つてたの？」

あきれ顔の恋人をみて、制作者 アンドウは説明を始めた。

「そう言わないでくれよ。これはタイムマシンなんだ。まずこの iMac から身長？体重？行き先を入力するんだ。そしてここのいすに座つてボタンを押す。

そうすれば… そう、別の時間だ。」

アンドウはそこまで言つて、恋人が冷蔵庫の中をあさつていることに気がついた。そういうば最近研究に没頭しすぎてあまり食事をとつていなかつたことを思い出す。

「ちょっと… ほとんど賞味期限切れじゃない。」

恋人はため息をついた。アンドウは早くこの状況をどうにかしなければならないと思つた。

「待つてて、コンビニ行つて買つてくる。」

微笑んで、アンドウは近所のコンビニエンスストアへと向かつた。

アンドーナツと飲み物をかごの中に入れて、客 アンドウはレジに並んでいた。おでんに目がとまり、彼は店員に値段を聞いた。しかしアルバイトで稼いだ彼の金では足りなかつた。

「じゃあ、おでん結構です。」

そう言つた時突然店内の電気が消えた。どうやら地区が全体的に停電してしまつたようだ。店員が自分で計算できなくなり電卓をだす。使えないレジ担当だ、アンドウは思った。

結局、アンドーナッツと飲み物だけを買って持参したマイバッグにいれ、アンドウは自宅へと帰つた。

家の前にいたときには電気もすっかり戻つていた。

「ただいま。買つてきたよ。」

アンドウは部屋に入つた。

…

沈黙

アンドウはおかしいと思い、機械のある奥へと進んだ。そこにはヘルメットをかぶつた男が一人立つていて、足元で留守番をしていた恋人が血を流して倒れていた。

「お前は誰だ。」

アンドウはヘルメット男に迫つた。不法侵入だ、殺人犯だ。様々な言葉をならびたてた。

「事故だつたんだ…」

ヘルメット男は言った。だがアンドウは容赦しなかつた。男の胸ぐらをつかみ、風を送つていた窓から突き落とした。悲鳴が聞こえ、止んだ。

ふと、アンドウは我にかえつた。どうにかしなければ。彼は焦つた。そこに、死んでしまつた恋人と、時間を超える機械のことを思い出した。

「そうだ…僕が彼女を助けるんだ…」

早速iMacを起動させ、停電の影響を調べ（異常のないことを確認し）タイムマシーンと接続した。身長と体重はもともと設定してあつた。

「大丈夫。死なせはしない。」

アンドウはバイク用のヘルメットをかぶり、行き先の時間を入力

してスイッチを入れた。機械はものすごい音を発しながら動き始めた。

アンドウは、消えた。

-7-

ものすごい音とともにヘルメットをかぶつた一人のタイムトラベラーがさほど広くもない部屋に現れた。まるで空間にぽつかりと穴が開いたようだ。部屋中の、いや、町中の電気が消えた。

「キヤアツ」

反動で近くにいた

氷に血があふれる

彼女は力つきた。

「嘘だ…嘘だ…嘘だーつ！」

ヘルメットから響く大声。彼はすべてを悟った。

「僕が……か、彼女を……殺した……」

部屋の電気が戻った。もう何も

した音を聞いたときには彼は生きる価値さえも忘れていた。

タイムパラドックス。彼を破滅させたのは彼自身……

(後書き)

展開が早いかもしません。  
そこは気にしないでください。

アンドウがどうなったかわかりますよね?

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9660/>

---

矛盾 Paradox

2010年10月28日03時07分発行